

dji ENTERPRISE



DJI MAVIC 3 ENTERPRISE SERIES

日々のタスクに、この携帯性と効率性

DJI Mavic 3 Enterpriseシリーズ (Mavic 3E、Mavic 3T) は、
業務用小型ドローンの業界標準を一新します。

Mavic 3Eは、メカニカルシャッター、56倍ハイブリッドズーム対応カメラ、cmレベルの正確な測位を実現する
RTKモジュールを搭載し、業務効率性を新たな高みへと向上させます。

Mavic 3Tは、サーマルカメラを搭載し、消防活動、捜索救助活動、点検、夜間業務などで活躍します。



2種類のモデルで、幅広く活躍

DJI MAVIC 3E

広角カメラ: 4/3型 CMOS、20 MP、メカニカルシャッター
ズームカメラ: 焦点距離 162 mm (35 mm 判換算)、12 MP、
56倍ハイブリッドズーム

DJI MAVIC 3T

広角カメラ: 焦点距離 24 mm (35 mm 判換算)、48 MP
ズームカメラ: 焦点距離 162 mm (35 mm 判換算)、12 MP、
56倍ハイブリッドズーム
サーマルカメラ*1: DFOV(対角視野) 61°、焦点距離 40mm (35 mm
判換算)、解像度 640 × 512

高品質のカメラ性能

- HD 広角カメラ
- スマート低照度写真
- 熱画像撮影
- 2画面連動ズーム

コンパクト & ポータブル

- 軽量設計 _DJI MAVIC 3T: 915 g*2
DJI MAVIC 3E: 920 g
- 手のひらに乗るほどのコンパクトサイズ
- 初心者にもベテランパイロットにも最適

長時間バッテリー駆動

- 飛行時間 最大 45分*3
- 100W対応充電ハブで、バッテリーを高速充電
- ドローンを直接充電 (88W)

最高レベルの飛行安全性

- 全方向障害物検知に対応し、死角を作らない
広角レンズ*4
- アドバンスドRTH
- APAS 5.0による、障害物周辺で自動リルート*5

豊富な対応アクセサリ

- DJI RC Pro Enterprise*6
- RTKモジュール*7
- 拡声スピーカー*7
- D-RTK 2 モバイルステーション*7

包括的な対応ソフトウェア

- DJI Pilot 2
- DJI FlightHub 2
- DJI Terra
- DTAT 3.0 (DJI 熱分析ツール)

スペック

一般

サイズ	178 × 135 × 161 mm
重量	DJI MAVIC 3E: 915 g、DJI MAVIC 3T: 920 g
最大飛行速度 (海拔ゼロ地点、無風)	15 m/s (ノーマルモードの場合)
最大飛行時間 (無風)	45分
動作環境温度	-10°C ~ 40°C

映像伝送

映像伝送システム	DJI O3 Enterprise 伝送
最大伝送距離 (障害物、電波干渉のない場合)	FCC: 15 km、CE: 8 km、SRRC: 8 km、MIC (日本): 8 km
最大ダウンロード速度	15 MB/s (DJI RC Pro Enterprise 送信機 使用時)

- *1 サーマルカメラレンズを高エネルギー源 (太陽、溶岩、レーザービームなど) に向けてください。カメラのセンサー焼けが生じ、回復不能な損傷につながる場合があります。
- *2 DJI Mavic 3E (プロペラを含む)の重量は 915 g、DJI Mavic 3T (プロペラを含む)は 920 gです。
- *3 無風環境下の海拔高度で、バッテリー残量が0%になるまで、定速 32.4 km/hで飛行し測定。
- *4 全方向障害物検知の性能は、天候や電磁干渉などの環境要因により制限を受けます。過酷な環境下 (例: 風速 12m/s 以上の環境)で業務を遂行する場合は、慎重に飛行してください。
- *5 マニュアル飛行モード時のみ対応。危険な環境下では、慎重に飛行してください。
- *6 現在、DJI Mavic 3 Enterpriseシリーズと一緒にのみ購入でき、単独での販売はしていません。
- *7 アクセサリーは別売です。

DJI Enterprise について

DJI Enterpriseは、新世代ビジネスのために世界トップクラスのドローンソリューションを開発するグローバルチームです。ドローンソリューションにより、作業者を支援し、業務拡大と作業のデジタル化を推進。農業/インフラ/公共安全部門など、さまざまなビジネスをサポートすることができます。

dji ENTERPRISE

www.enterprise.dji.com/jp

@DJIEnterpriseJP @dji_japan @DJIJAPAN

このカタログの記載内容は2022年9月現在のものです。

© 2022 DJI JAPAN. ドローンを飛ばすためにはルールがあります。申請が必要なエリアや飛ばし方などの情報はDJIホームページをご確認ください。製品の構成や仕様は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。ご使用に際しましては、最新の情報をご確認ください。